

2022年3月24日

ウクライナへの軍事侵攻に対する声明

ロシアによるウクライナへの軍事侵攻により、多くの女性や子どもたちが犠牲となり、現在も安全や健康、尊厳が脅かされています。

武力による軍事侵攻が長期にわたれば、直接的な攻撃による被害のみならず人々に深刻な影響を及ぼし、様々な暴力の連鎖を引き起こします。

どのような理由があろうとも、戦争や暴力は許されません。

私たち助産師は、女性と子どもの擁護者として、軍事侵攻に強く反対いたします。

一日も早く両国間で停戦が合意され、ウクライナの母子が安心、安全な生活を取り戻すことを強く願います。

ウクライナの戦禍において出産、母子への支援に力を尽くしている私たちの仲間である助産師に心からの敬意を表するとともに、安全が確保されることを願います。

一般社団法人日本助産学会理事長

片岡弥恵子

公益社団法人日本助産師会会長

島田真理恵

公益社団法人全国助産師教育協議会会長

村上 明美